

かいよう

海陽



12⁷⁶月号

公民館報

海陽町教育委員会
2018年12月1日発行



穴喰地区



川東地区



海部地区



浅川地区



川上地区

共楽運動会

10月7日(日) 共楽運動会

秋の大イベントである共楽運動会が町内5地区（穴喰、海部、川東、浅川、川上）でそれぞれ開催されました。川上地区は、グラウンドのコンディションが悪かったため翌週の14日開催となりました。当日はたくさんの地域の方々が早朝より会場設営、大会運営にご協力くださいました。各地区とも子どもから高齢者までたくさんの方が参加し、地域が一体となった地域色溢れる素晴らしい運動会になりました。







うまく入るかな



川東公民館



むかで競走



いちにさん。。。



はやいぞ〜



ありがとう



たいりょうだ



神野・若松



小川



平井



相川



平成30年度 郡中新人大会結果

バスケ男子

(会場 穴喰中体育館)

海陽 対 穴喰 147 - 5
海陽 対 牟岐 64 - 35

優勝 海陽中学校

バスケ女子

(会場 穴喰中体育館)

牟岐 対 海陽 84 - 48
海陽 対 穴喰 37 - 20

準優勝 海陽中学校

バレーボール

(会場 日和佐中学校体育館)

穴喰 対 日和佐・牟岐 2 - 0
穴喰 対 海陽・由岐 2 - 0
海陽・由岐 対 牟岐・日和佐 2 - 0

優勝 穴喰中学校
準優勝 海陽・由岐中学校

卓球男子

(会場 海陽中学校体育館)

団体戦(男子)

穴喰 対 海陽 3 - 2
海陽 対 由岐 4 - 1
穴喰 対 由岐 5 - 0

優勝 穴喰中学校
準優勝 海陽中学校

野 球【海陽・牟岐・穴喰合同チーム】

(会場 海南蛇王球場)

日和佐 対 海陽・牟岐・穴喰

* 9回 1 - 1 設定ゲーム (3 - 0)

準優勝 海陽・牟岐・穴喰中学校

個人戦等(個人名)につきましては、掲載は控えさせていただきました。



10月12日(金)、海陽町青少年育成海陽町民会議主催の非行防止パレードを実施しました。毎年、宍喰小学生、宍喰中学生、保護者の方、地域の皆さんと、地域社会をあげて子ども達の見守り活動を啓発しています。宍喰庁舎をスタートし、横断幕を掲げて宍喰町内をパレードしました。



2020年東京オリンピックに向けて 海陽町体協サーフィン部 大会結果 2018年9月～

ニュース 日本サーフィン史上初の快挙及び、快進撃に海陽町体協サーフィン部員が多大な貢献！

その①

世界ジュニアサーフィン選手権上山キア又久里朱選手が優勝！安室 丈選手が準優勝！チームジャパン団体優勝！の日本サーフィン史上初の快挙をなしとげました！

10月27日(土)～11月4日(日)、アメリカ カリフォルニアにて開催され、この大会に海陽町体協サーフィン部から男子U18クラス(3名)に安室 丈選手、上山 キア又 久里朱選手、男子U16クラス(3名)に、金沢 呂偉選手が日本代表として出場しました。44か国 4クラス 528人が出場。そのうちU18ボーイズクラス132人中上山選手が優勝安室選手が準優勝とワンツーフィニッシュを決め国別で優勝を勝ち取りました。



その②

ISA 2018 URBAN RESEACH ISA World Surfing Games 9月15日(土)～22日(土)、愛知県田原市にて開催されました大会に海陽町体協サーフィン部より、黒川 日菜子選手が日本代表として出場。個人では11位と入賞はならなかったものの、男子2名がチームジャパンより入賞し、国別では堂々の優勝！金メダルを獲得。アロハカップ(国別対抗メドレーリレー)では準優勝 銀メダルを持ち帰りました。10月10日(水)、金・銀の2個のメダルを携えて三浦町長に優勝報告いたしました。

試合結果 <国際試合>

***ISA 2018 URBAN RESEACH ISA World Surfing Games**

9月15日(土)～22日(土) 日本愛知県田原市
 チームジャパン 団体優勝 アロハカップ(国別対抗メドレーリレー)
 準優勝 女子チーム日本代表 黒川 日菜子

<プロアマミックスの試合>

WSL 世界サーフィン連盟主催(国内外で行われるプロアマ枠なしの大会の主催団体)

***南房総ジュニアプロ**

9月8日(土)～9日(日) 千葉県南房総市 千歳ポイント
 ジュニアクラス 優勝 金沢 呂偉

***伊勢志摩プロジュニア**

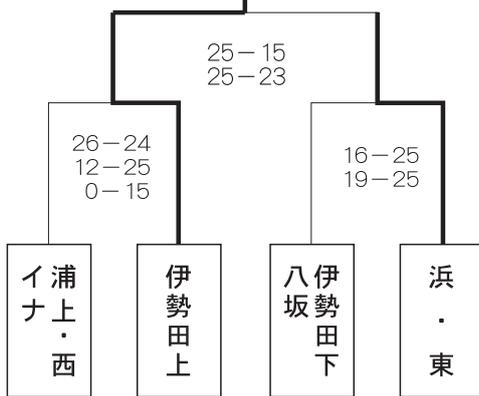
10月13日(土)～14日(日) 三重県志摩市国府の浜
 ジュニアクラス 2位 西 優司
 3位 安室 丈



浅川公民館分館対抗ミックスバレーボール大会

9月12日(水) 於：浅川町民体育館

優勝…伊勢田上
準優勝…浜・東



優勝した伊勢田上チーム

川上公民館分館グラウンドゴルフ大会

9月23日(日) 於：若松グラウンドゴルフ場



当日29名の参加があり、参加された皆さんは日頃の練習の成果を発揮しベストを尽くしていました。

— 博物館雑記 4 — 民具

「ばあちゃん、かんこ（おにぎり）作って」「冷たいまま（ご飯）しかないんぜ。ええけ？」「ええよ」保育所から母方の曾祖母のところまで一人で帰り、厨の土間の敷居にまたがり「おにぎり」をねだる3歳の私。粗塩がついたばあちゃんの柔らかい手から、いい塩加減のかんこをもらいほおぼる。このひとときが、「保育所になじめず緊張してくたくたになった心」を、やさしく溶かし始める。囲炉裏の煙で黒光りする天井の梁。ちろちろと燃える木炭の燠火。お湯を沸かすやかんから立ち上る揺らめく白い蒸気。人も物も緩やかに時間を紡いでいたあの頃、心豊かな田舎の一風景だ。

私にとって、曾ばあちゃんの慈愛と一緒に握られた「かんこ」に内包された温かさや幸福感は半世紀以上経っても記憶の片隅に残り、時々引っ張り出してきては、ほっこりと懐かしむことができる精神安定剤の一つとなっている。



人生100年時代といわれる。人口の高齢化は進んではいるが、都会の分刻みに出発する電車が時間通りに営業可能だということからもわかるように、今はまだ若い働き盛りの世代が多い。

我々還暦世代が80代半ばを迎える頃には、総人口の7人に一人が80歳以上となる。電車等の乗降には時間を要し、空港の保安検査場もスーパーのレジも適応能力別に区別され、高齢者がゆったり、効率よく搭乗手続きや、買い物ができるような「生」の多様性を受け入れた社会にと変容しているかもしれない。今後絶対数が少数となった若者達が、この社会を担っていかねばならないことを考えると、元号が変わった未来の日本は、企業は、私達の生活はどうなっているだろう？すべからく幸せで満足できる時代となるべしと願うばかり。

さて写真は、博物館に常設展示されている民具達である。古代から培われてきた生活の蓄積としての道具や工芸品。常民が、自然環境と共生しつつ必死に生きて、日々の暮らしに使用した営みの道具達。台所の「竈（かまど）」、食事の食台「物据え」、慶事に使用する「本膳と腕」、お節句には「遊山箱」、農業には「脱穀機」、「挽臼」、「手箕」、糞尿を運ぶ「肥桶（こえたご）」など、それを直に見、使用した昭和30年代初頭生まれの私には、民具から当時の文化や伝統が垣間見える。

四季折々に、人生の節目節目に色んな通過儀礼を行いながら「生」を確認し覚悟をきめていった日本の文化。人々の営みの歴史を今に伝える民具達を博物館でご覧になって、独特の世界観に浸ってみてください。

穴喰俳句

十月例会より

水桶を提げてひとりの秋彼岸	元木朱子
無職なる我に勤労感謝の日	長岡達江
果てのない道なき道を雁渡る	山本球子
朝寒し今日の散歩はBコース	外山千佳
秋風に少し歩こうかひとり言	梅田千恵子
ふり返りふり返り背に星月夜	樽井みつ子
鉦叩夜更しばかりしておりぬ	新井久実
逝きし師やいま蟋蟀 <small>こおろぎ</small> と月光と	寺崎照代
柚子の香を落として逃げる秋あらし	朝賀ます美
秋夕焼搭乗を待つ三時間	川野佳代
月の宴話上手と聞き上手	元木栄子
秋茄子のその色もよし味もよし	陸田ヨネ子
台風の通過中なり味噌を溶く	間戸谷恵子
星月夜家出は明日することに	新井駿也
弟はふたつ年下秋の雲	木下野生

海南俳句

月明や五右衛門風呂が家の外	田中たち子
青空を二分してゆく鬼やんま	平道はつ子
こおろぎやATMの入り口に	谷口洋根子
鯛雲形いろいろ人もまた	鍛冶崎郁夫
紅葉狩り異郷の人と乗り合わす	廣瀬克子
束の間の野の華やぎや彼岸花	川原沃子
月冴えて過ぎ来し事のふつふつと	森口豊子
鈴ヶ峰少し休めと竜胆が	佐野政一
急ぐまじ秋風の吹く上り坂	岳山祐弘
秋彼岸仏花のならぶ商店街	北川花
蜻蛉の目玉に涙ためざるか	山本達平
供華変への墓前に聞こゆ百舌の声	叶岡陽二
柘の垣根見事な武家屋敷	武知陸子
鳴啼くや引出しをみな全開に	津川須美江
躰け糸打って出かける敬老会	吉田保則
廃校の水族館や秋暑し	橋本幸子

海部ひまわり俳句

好きでした今さら言えぬいわし雲	津田一
虫すだく畑の中にひとり居り	西本公明
鈴虫の鈴鳴り止まず金の鈴	榎原礼子
どの絵にも「みんなでのらんけ」いわし雲	南歌子
とびとびに余白のありて日記果つ	松田嘉子
夕焼け雲空にアーティストいるのかな	元木美枝子
ゆく夏をゆらりと乗せて渡し船	佐藤美代子
新米でおにぎり作る匂いかな	穴戸道子
山の家裸電球冬ともし	岡育代
タラップをホームへ降りて夜寒かな	川野照美
カレンダーめくらぬままに一周忌	村田恵巳
御厨 <small>みくりや</small> に残りしけさの林檎の香	佐藤蔦子
トランプは米のジョーカー秋地雷	穴戸保夫
ねえ見てて月に呼びかけ花開く	村田恵里佳

海南短歌会

遠き日に共につとめし先輩の電話にて聞く言の葉長し

大久保スエ子

「かえり船」聴くたび浮かぶ亡き父が手帳に書きし歌詞の達筆

土谷公代

ときならぬ桜三輪花開き秋の陽ざしにきらめき揺るる

蛭子美恵子

曼珠沙華咲けば飛びくる黒揚葉わが秋の日の叙事詩なりけり

細野綾子

擦り傷の白くうきたるスダチ摘み夏荒風の過ぎし日思ふ

桑村未貴子

穴喰短歌会

渚^{すく}辺に母のふところ掌に掬う潮の温もり胸に伝わる

大黒千枝美

秋深し眠むれぬ夜半に人恋し辿れば路に想い出燃ゆる

桑野亀乃

老いゆかば身に受けとめて生きる日々秋陽やさしく我を包みぬ

舛谷恂子

千年の時代を紡ぐ二条城豪華楼門黄金の風

三野みよ子

病み伏して秋風恋しくおもゆるに窓辺に写りし柿のみたわわ

山崎千栄子

網代川柳

決心がつけば割り切る風の向き

石垣小道

飲み会を仕切る幹事は飲み足らず

井上可楽

指切りの指を彼女がはなさない

黒岩一平

立ち直るチャンスは母の涙かも

風呂谷いずみ

起立したとたんに膝が笑い出す

太田一洋

朝めざめ気ままに好きに幸もらい

福岡純山



公開演武



剣道、居合道、少林寺拳法の三道の有段者により、武道の実技が披露されます。それぞれの完成された形や実技を是非ともご鑑賞ください。

【会場】阿波海南文化村 文化館ホール

【日時】平成30年12月16日(日)

13:30開演(13:00開場)

【入場料】無料

【出演者】居合道(阿波居合道伝習会)

剣道(海部川剣道教室)

少林寺拳法(穴喰拳友会)

記録から学ぶ南海地震

海陽ヒストリー・カフェ

津波の記念碑や文献資料から、地震・津波について考えます。お茶やコーヒーを飲み、お菓子をつまみながら和やかに身近な防災・減災対策について一緒にお話しませんか。

【会場】阿波海南文化村 工芸館

【日時】平成30年12月22日(土) 13:30~

【申込方法】お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を海陽町立博物館までお知らせください。

【参加料】500円(お茶・菓子代として)

【定員】30名

